

青い波北陽台

～ユリの花に思う～

校長 大川 周一

長い梅雨が明け、眩しい夏空に入道雲がわくこの時季、日当たりのよい法面や道路沿いにラッパ状の白い花が群生している風景をよく目にする。一見するとテッポウユリと見間違ひそうになるが、この花の名はタカサゴユリ（高砂百合）である。本校のつつじ坂や中庭の一部にも生えていて、学名は *Lilium formosanum* Wallace と命名されている。もちろんテッポウユリもタカサゴユリも同じユリ科の单子葉植物であるが、その遺伝的形質には顕著な差があるため別種と同定されている。

タカサゴユリは、茎が太い割には葉が細く、草丈は大きいもので1.5mにも生長し、花の大きさもテッポウユリに比べて大型である。開花時期は、テッポウユリが4月から6月であるのに対して、タカサゴユリは7月から9月の暑い時期にずれる。花被片（花びら）は6枚で根元がつながっていて、純白の花びらの外側には薄い紫色の筋が入っているのが最大の特徴である。

テッポウユリは日本の固有種（在来種）であるが、タカサゴユリは残念ながら外来種である。花がきれいであるためか、なかなか駆除されず、大量の種子を風散布させることで日本全土に分布をひろげている。本種はもともと台湾原産で、1924年に観賞用として日本に導入された記録が残っており、英名では Taiwanese lily と呼ばれ親しまれている。

江戸時代には台湾が高砂国と呼ばれていたことがタカサゴユリ（高砂百合）の名前の由来になっている。ただし、本種はテッポウユリとの交雑種が多く、変異も起きやすいと考えられており、例えば紫色の筋のない純白の花をつけながら葉が細く大型の個体が観察されるなど、その違いが外見からは判別しにくい場合も多い。よく観察すると、写真（左）にあるような交雑種を比較的容易に見つけることができる。

繁殖力の強い外来種や交雑種が増えることは、在来種の絶滅を加速することに繋がるため、たとえ華麗な花であっても喜んで観賞できないのが正直なところである。一方で、私たちが口にする農産物のほとんどは交雑種であり、食料の安定供給や人間の味覚を満足させるために品種改良されたものである。自然界の交雑種と決定的に違う点は、人の手で管理された交雑種であるということである。私たち人類は、農耕地など単純な生態系の管理を可能にしてきたが、複雑な自然の生態系をコントロールすることは到底できないであろう。

何気なく風に揺れるユリを眺めては、身近なところで自然の多様性が失われている現状を憂う夏である。



テッポウユリ



タカサゴユリ



開花中のタカサゴユリ



交雑種

タカサゴユリ

オープンスクール

7月8日（土）に令和5年度のオープンスクールを実施しました。

このオープンスクールは、（1）本校の教育活動の一端を模擬授業や部活動見学等で体感してもらい、中学生やその保護者に理解してもらう。（2）出身中学校の生徒と交流することで、本校の実生活を語る中から本校の良さをアピールする。という2点を目的として開催したものです。当日は、中学生559名、保護者329名の合わせて888名の参加をいただき、大盛況でした。離島や県外からの参加者もありました。



受付のようす



全大会のようす

暑さ対策でクーラーが使える28教室に分散して実施しました



模擬授業（公民）



模擬授業（国際探究）



模擬授業（理数探究）



先輩との交流

校内競技大会

7月10日（月）、11日（火）にサッカー、バレーボール、バスケットボールの3種目に分かれて、競技大会を行いました。どのクラスも応援が後押しとなり、白熱した試合が見られました。結果は以下の通りです。

サッカー	男子	1位	3年3組	2位	2年2組
	女子	1位	3年2組	2位	1年5組
バレーボール	男子	1位	3年7組	2位	3年4組
	女子	1位	2年7組	2位	1年1組
バスケットボール	男子	1位	3年2組	2位	2年1組
	女子	1位	3年5組	2位	1年7組



生徒会任命式

6月29日(木)に新しい生徒会役員の任命式がありました。前生徒会長の小林君から全校生徒に挨拶があり、新生徒会長の冨永君からも挨拶がありました。執行部として20名ほどの1,2年生も集まり、新体制で様々な活動に取り組んでいきます。



全国大会壮行式

7月20日(木)の終業式に全国大会に出場する各部活動の壮行式が行われました。出場するのは、登山部男女、生物部、数理科学部、放送部です。それぞれの部活動代表者から全国大会への意気込みや目標が表明されました。北陽台一丸となって応援しています！



8月の主な行事予定

1日(火)～5日(土)	3年生夏季学習会(長崎県総合福祉センター)
3日(木)・4日(金)	1年文理探究科長崎大学水産学部研修
7日(月)・8日(火)	3年生校内学習会
9日(水)	長崎原爆の日 ALT 着任式 平和学習 登校日
10日(木)～15日(火)	学校閉庁日
17日(木)～19日(土)	中国・四国・九州理数科大会(鳥取)
19日(土)・20日(日)	3年生校外模試
21日(月)	開始式・表彰伝達式 1・2年生校内実力試験(国数英) 3年授業
26日(土)	土曜自学(3年) GTEC(希望者)

「 夏休み 」

1 学年主任 山口 貴明

長崎北陽台にも夏休みがあります。短いですが、夏休みは確かに存在します。皆さん、どのような夏休みにしますか？高校生として、三度夏休みを経験します。その第一弾です。この夏はぜひ、自分を鍛える時間にしてほしいと思います。

終了式の日配付した「夏休みの学習・生活について」をおさらいしておきます。

1. 全教科の課題に取り組む

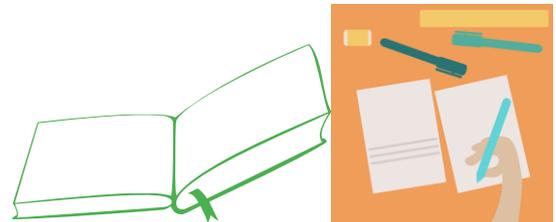
「夏の課題」一覧、「学習のアドバイス」を参考にして、計画的に学習に励みましょう。苦手を強化するのもこの時期です。

2. Classi への学習時間の入力

日々の学習が計画的かつ継続的に実施されているか、Classi に学習時間を入力しながら確認することが大切です。教科のバランスも取れているかチェックしましょう。

3. 書評

普段忙しくて読書もままならない人もいるかもしれません。書評を完成させるにあたって読書にも励み、自分の視野の広さや感受性を育みたいものです。



また、課題以外の+αの学習に取り組む、「進路のしおり」を参考にしながら、オープンキャンパスに参加して進路研究を深めるなど、この時期だからこそできることに積極的に取り組んでください。家の手伝いも自主的にどんどんやりましょう。

そして多くの部活動生にとっては、この夏の経験は自分が成長するための大きな糧となることでしょう。暑い中、汗を流し、我慢して歯を食いしばって頑張った経験は、今後必ず君たちを成長に導くことと思います。来年、再来年でもない、この夏が勝負です。

「Change の夏」、「Chance の夏」、「Challenge の夏」です。これまでの自分を超越るべく、この夏は今までで一番「燃える夏」としましょう。

では、健康には十分留意して、事件・事故、トラブルに巻き込まれることなく、夏休み明けには元気みなぎる皆さんと再会することを楽しみにしています。

2 学年主任 川崎 健太

1 学期が終了しました。充実した日々が過ごせたでしょうか。キャリアパスポートを記入するなど、それぞれふりかえりを行いました。ふりかえりを“ただのふりかえり”にせず、具体的に今後の自分自身の考えや行動の変容に生かしてほしいと思います。また、学期の初めには、「失敗から学ぼう」と伝えましたが、たくさんの失敗を経験できたでしょうか。失敗を恐れず、前向きに主体的に何事にも取り組んでいきましょう。

○夏休み期間を有効に活用しよう

先日、夏休みの学習計画表を作成してもらいました。ぜひ、この夏休みこそは、計画的な学習や生活を心がけ、有意義な夏休みを過ごしてください。この夏休みの過ごし方が、来年の受験期の貴重な経験となるはずですよ。

<夏休みに取り組んでほしいこと>

・夏休みの課題

各教科の先生方から、共通課題、選択課題、自主課題を提示していただきました。自分で考えて、適宜選択して取り組みましょう。「家庭学習時間100時間以上」を全員達成しましょう！

・Classi への学習時間入力

Classi を積極的に活用しましょう。学習入力以外にも、学習トレーニングや Web ドリルなど学習面をサポートできる機能がたくさんあります。

・進路研究

オープンキャンパス等へ積極的に参加しましょう。また、大学入試制度を調べ、自分たちがどのような試験を受験するのか調べてみましょう。配信されている「進路のしおり」も参考にしましょう。次年度から大幅に変更になる「大学入学共通テスト」は、どのような試験なのか必ず知っておきましょう。志望校の入試問題を見てもよいでしょう。

・家の手伝い

家族への感謝の気持ちを示しましょう。時間があるときにしかできないこともやってみましょう。

○海外修学旅行について

7 月 1 日～4 日に海外修学旅行（シンガポール）の事前視察を行いました。視察を受け、現在、最終的な旅程を作成中で、2 学期に詳細を示す予定です。

また、先日、パスポートの申請についての案内を Classi で行いました。今後、修学旅行へ向けて、事前研修を行います。



～有意義で思い出に残る

すばらしい修学旅行にしましょう～

進路講演会

3 学年主任 内藤 健一

7月18日（火）にベネッセコーポレーション顧問の田川祐治先生に「今までいちばん頑張った夏に」というタイトルで講演をしていただきました。気温も高く蒸し暑い体育館ではありましたが、田川先生の迫力と情熱に圧倒されながらも、生徒たちは食い入るように話を聞いており、あっという間に講演が終わったような気がしました。その中でも生活のリズムを整えること（起床・学習・就寝時間の3点固定）や、「わかる」→「できる」→「身につく」のサイクルを確立するなど、印象に残るお話がたくさんあり、この夏を充実したものにしようと生徒もやる気になったようでした。

【生徒の感想より】

自分はまだ「分かる」段階で止まってしまっている問題が多くある。今日言われたように、今自分が持っている知識で最後まで解いてみる。そのうえで解答解説を見て理解し、もう一度自分で解いてみる。この繰り返しが根本になってきて、大切になってくるのだと思う。



早いものでもう1学期が終了してしまいました。田川祐治先生の進路講演会や三者面談で保護者を交えて進路についての話をしたせいなのか、最近では暑さに負けずに積極的に学習に取り組む生徒が増えたように思います。また、7月31日（月）からは茂里町の総合福祉センターでの夏季学習会も始まります。一人では頑張れない時も、周囲を見渡せばクラスをはじめ43回生の多くの仲間と一緒にいます。学年全体で受験に向けての長時間の学習を乗り越え、今までで一番の夏にしましょう。

